

2024年6月1日

報道関係各位

日本化学会 化学グランプリ・オリンピック委員会 オリンピック小委員会
弘前大学 教育学部

「国際大会交歓グッズ 高校生デザインコンテスト in 青森」優秀作品発表 ～国際化学オリンピック日本代表生徒がサウジアラビア大会で活用～

公益社団法人 日本化学会（東京都千代田区神田駿河台 1-5）と国立大学法人 弘前大学 教育学部（弘前市文京町 1）は協働で実施した、「国際大会交歓グッズ 高校生デザインコンテスト in 青森」の選考結果を以下のように発表いたしました。

	氏名	所属学校	学年
最優秀賞	笹 羽津紀(ササ ハヅキ)	黒石高等学校	2年生(16歳)
優秀賞	小野 早千枝(オノ サチエ)	弘前高等学校	3年生
優秀賞	山内 もか(ヤマウチ モカ)	弘前南高等学校	3年生
優良賞	(順不同)		

氏名	学校/学年	氏名	学校/学年
井上 歩佳	青森第二高等養護学校/3年	帷子 瞳	田名部高等学校/3年
小田桐 碧	弘前大学教育学部附属特別支援学校/高等部3年	秋元 ののか	青森東高等学校/2年
小野 一馬	弘前実業高等学校/3年	富澤 佳乃賀	弘前高等学校/3年
葛西 凜	黒石高等学校/3年	松川 凜	弘前南高等学校/3年

この交歓グッズは、「第56回国際化学オリンピック^{*1} サウジアラビア大会」(2024年7月21日～30日開催)に参加する日本代表の高校生4名が、大会期間中に諸外国・地域の代表生徒と交流する際に使用する目的で制作が企画されました。総計33点の、高校生の気持ちが込められたデザインが青森県各地から応募されました。

最優秀作品に選ばれた笹 羽津紀さんは、「手ぬぐいのデザインなので、シンプルで使いやすさを重視して作成しました。日本を象徴するのに桜を、化学を表現するために構造式を用いました。このデザインがサウジアラビア大会で多くの人に届いてほしいと思います」と喜びを語りました。

笹さんのデザインは日本手ぬぐいに印刷され、日本代表生徒と共にサウジアラビアのリヤドに向かいます。

※1 国際化学オリンピック(IChO=International Chemistry Olympiad)は、1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の化学の学力試験から発展した、1年に1度開催される「化学」の国際コンテストです。代表は1カ国最大4名まで出場でき、近年では約90の国と地域が参加する一大国際大会となっています。大会は毎年7月に10日間開かれ、それぞれ5時間に及ぶ実験課題と筆記問題に挑戦します。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られます。日本は2003年より参加しており、2010年および2021年は日本で国際大会を開催しました。

大会では、日本の高校教育のレベルを超えた内容も含む実験課題に対応するための技術や考え方を実践的に習得します。弘前大学教育学部と理工学部は、今回初めて第56回国際化学オリンピックサウジアラビア大会日本代表生徒4名のために、6月1日2日に特別訓練を実施します。

第56回国際化学オリンピックサウジアラビア大会の日本代表生徒は以下の4名です

飯野 拓人(イイノ タクト) 筑波大学附属駒場高等学校 3年生(東京都)
大沼 拓実(オオヌマ タクミ) 栄光学園高等学校 3年生(神奈川県)
斎藤 健太(サイトウ ケンタ) 灘高等学校 2年生(兵庫県)
鈴木 亜麻音(スズキ アマネ) 洗足学園高等学校 3年生(神奈川県)

本件に関するお問合せ先:

- ① 日本化学会 化学オリンピック・グランプリ委員会 広報
ラオちぐさ email: chigusaxcip@gmail.com
- ② 弘前大学教育学部 准教授 /
第56回国際化学オリンピック サウジアラビア大会日本チーム 引率責任者(ヘッドメンター)
島田 透 email: tshimada@hirosaki-u.ac.jp

以上